

日中対照言語学会会報 (No.43)

2018年4月10日(火)発行 会報担当：続三義 加藤晴子

目次

1. 第5回常務理事会拡大会議(2018年3月18日)議事録
2. 日中対照言語学会第39回大会(2018年度春季大会)のご案内
3. 月例会(2018年2月~2018年3月)

※ 事務局より

1. 第5回常務理事会拡大会議議事録

日 時：2018年3月17日(土) 15:30~17:00

場 所：大東文化会館 K305

出席者：続三義 于康 王学群 竹島毅 彭飛 安本真弓 白石裕一 石井宏明(敬称略)

[審議事項]

① 次期学会役員会について

続三義理事長より、次期学会理事長として加藤晴子副理事長を推薦する意見が出され、承認を得たため、会員総会にかけることとなった。

于康副理事長より、理事長をはじめ、役員会の選出方法に関し、今後、選挙を導入することを検討することが提案され、承認された。

② 第39回大会(2018年度春季大会)プログラム

会場は跡見学園女子大学の予定。安本真弓常務理事より、会場使用については申請中であり、4月以降に結果が判明するとの報告があり、承認された。跡見学園女子大学での開催は都合が悪い場合、東洋大学など他大学での開催も視野に入れて調整していくこととする。

続理事長より、発表者をさらに数名募ることが報告された。また、講演者2名のうち、1名は対外経済貿易大学の李愛文先生にお願いし、もう1名は今後探すことが報告され、承認された。

③ 総会

春季大会当日、総会を開催する。

④ 学会誌投稿規定の改定

続理事長より、報告事項第1項に鑑み、著作権や投稿方法などに関連した学会誌投稿規定の文言をより細かく検討することが提案され、承認を得た。

[報告事項]

① 日本学術会議協力学術研究団体指定

続理事長より、2018年1月25日付けで日本学術会議協力学術研究団体に指定されたことが報告された。

② 学会誌『日中言語対照研究論集』第20号編集の進捗状況

平山邦彦学会誌査読委員長より、書面による査読の結果報告、並びに投稿規定の改定案が提出された。

編集作業を取り扱う安本真弓常務理事より、編集作業に入ることが報告された。

③ 会費納入の現状

白石裕一会計より、2月28日現在、会員数は236名に上り、そのうち会費納入済みの会員は163名を数え、毎月4、5人の入会があったことが報告された。

④ 学会誌送付の現状

竹島毅常務理事より、第19号は196冊が送付済みであることが報告された。

2. 日中対照言語学会第39回大会（2018年度春季大会）のご案内

記

日時：2018年5月20日（日）9時20分より17時20分（予定時間）

会場：東洋大学（東京都文京区白山5-28-20）8号館7階125記念ホール

交通：都営地下鉄三田線白山駅A3出口より徒歩5分

東京メトロ南北線本駒込駅1番出口より徒歩5分

参加費：1,000円（会員、非会員共通）

プログラム

受付（9：00～） 総合司会 豊嶋 裕子（東海大学）

大会開催挨拶 小川 芳樹（東洋大学経済学部長） 9：20～9：30

開会の辞 彭 飛（京都外国語大学） 9：30～9：35

研究発表1. 現代中国語における“过”について—“V+来/去”と“V+过+来/去”の構造から
蘇 秋韵（大東文化大学大学院） 9：35～10：05

研究発表2. 中国語の結果補語“住”の用法について—その使用に見られる「働きかけ」の様相
について考える—
丸尾 誠（名古屋大学） 10：05～10：35

以上司会 平山 邦彦（拓殖大学）

休憩（10分 10：35～10：45）

研究発表 3. “把” 構文における主体の変化について

小路口ゆみ (大東文化大学)

10 : 45 - 11 : 15

研究発表 4. 副詞+ “是” について

白石 裕一 (中央大学非常勤)

11 : 15 - 11 : 45

以上司会 竹島 毅 (大東文化大学)

昼休み (60分 駅の周辺に食堂街あり)

11 : 45 - 12 : 45

講演 1. ビジネス日本語専門用語の翻訳

李愛文 (中国・对外経済貿易大学)

12 : 45 - 13 : 45

講演 2. 日本語のアスペクトの諸問題

須田 義治 (大東文化大学)

13 : 45 - 14 : 45

以上司会 続 三義 (東洋大学)

休憩 (15分 : 14 : 45 - 15 : 00)

研究発表 5. ユーモア研究と翻訳研究の接点 : 日本語ユーモア翻訳の可能性について

王 夢蕾 (筑波大学大学院)

15 : 00 - 15 : 30

研究発表 6. “別 / 不要……了” 構文とその多様な日本語訳

王 学群 (東洋大学)

15 : 30 - 16 : 00

以上司会 白銀 志栄 (神田外語大学)

休憩 (15分 16 : 00 - 16 : 15)

研究発表 7. 日中法律専門用語の「同形異義」問題に関する事例分析

吉田 慶子 (大東文化大学外国語学部)

16 : 15 - 16 : 45

研究発表 8. “NP 的 VP” フレーズをどう日本語に訳せばよいか

佐藤富士雄 (中央大学名誉教授)

16 : 45 - 17 : 15

以上司会 王亜 新 (東洋大学)

閉会の辞 加藤 晴子 (東京外国語大学)

17 : 15 - 17 : 20

会員総会

17 : 20 - 18 : 00

※ 当日、入会の申し込み、および年会費の納入も受け付けます (社会人 4,000 円、院生 2,000 円)。

3. 月例会 (2018年2月~2018年3月)

月例会の発表要旨は学会の HP をご参照ください。

2018年2月17日（土）17：00～19：00

場 所：大東文化会館 K-404

発表者：蘇秋韻（大東文化大学大学院生）

テーマ：非物理的空間における“V 过来”“V 过去”について

2018年3月17日（土）17：00～19：00

場 所：大東文化会館 K-301

発表者：横川伸（学会顧問）、佐藤富士雄（学会顧問）、高橋弥守彦（学会顧問）

テーマ：特別講演会：日中対照言語学会の歩みとこれからの展望

高橋弥守彦：日中対照言語学会の歩みとこれからの展望

横川伸：中国語の教育と研究——平和を祈って

佐藤富士雄：日中対照言語学会・報告資料

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。申し込みができない場合は王学群事務局長（ohgakubun@toyo.jp）、または竹島毅常務理事（sisi@kkd.biglobe.ne.jp）までご連絡をください。年間会費は社会人 4,000 円、院生 2,000 円となっています。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様にお願い申し上げます。
- 3) 年間会費の納入について
2018 年度の大会開催時に年間会費の納入を受け付けております。また、都合により出席されない会員に対しては次号の会報から請求書を送付させていただきますので、ご納入のほどよろしくお願いたします。
- 4) 月例会発表者募集について
月例会での発表をご希望される方は、毎月の月末までに翌月に発表したいテーマと要旨（500 字前後）を王学群（ohgakubun@toyo.jp）までお申し込みください。

